



テレビなどで大人気のエコグッズ



マイクロナノバブル&節水

いつもなげなく使用しているシャワー。最近ではシャワーを浴びるだけでいう方も多いようですが、洗いにもシャワーは必須。しかし、流すのシャワーでは、どうしても水道代や光熱費がかさんでしまいます。

そこで最近、注目のマイクロナノバブルシャワーヘッド。シャワーヘッドを取り外して、節水シャワーヘッドを取りつければ、水道代や光熱費が下がり、中熱は節約でき、元が取れる節水シャワーヘッドもありです。

今回紹介するのは、その中でも特に人気の高いアメリカ製「ストリーナ」です。最大約50%の節水率を誇り、家計の味方として人気を博しています。50%の節水

率とは一般的な家庭なら、年間およそ2万円節約になります。しかもマイクロナノバブルという非常に細かい泡が、節水だけでなく、洗浄、保湿、温浴にも作用しているのです。実際に大学の研究施設でマイクロナノバブルもささっているようです。

気持ちいい肌あたりも魅力のひとつ。節水もできるし、水勢が落ちると意味がないです。取りつければ、最大約50%の節水。家庭に頭を抱える主婦の方をはじめ、一人暮らしの心強いエコグッズです。

まずは自宅にお試し。そしてプレゼントにも最適です。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で対応させていただいております。スタッフの日常をお伝えいたします。

技術部 甲本 周平

技術部の甲本と申します。この会社に入社し、もう30年が近くなってきました。入社当時は全くのゼロからのスタートでしたが、今では技術部全体も見聞場となっていました。早いものですが、入社当時も製品にビッグサン防水材がありました。当時はどちらかというとサンシーラーという建築用シーリング材が主流でした。それから次第にビッグサンサルファイド系とがあり、この販売量が増え、次第にこのことから、業界も環境問題に対する意識が強まってきたのだと思います。その後、最終的に建築用シーリングの販売を中止したのですが、一度そのころ私には一つの転機がありました。

それは、当時大手エマルジョンメーカーを退職した方から、当社の技術顧問としてこれられた事です。そして、その方から「仕事が出来た」という事でした。その方は、技術的にも優れた方でしたが、人格的にも優れた方です。今でも尊敬している方です。当時、その技術顧問の言われたとおり、何でもやりました。それによって、エマルジョンの基礎とポリマーセメントやエマルジョン塗料の設計的なことを学びました。

あと、当時の技術部長からも施工技術等の指導を受けました。指導も厳しく辛かった記憶もありますが、その経験があるから現在があると思っております。

現在は、これまでに受けた貴重な知識やスキルを製品開発や改良に生かし、よりよい製品を



技術部 甲本 周平

業界に提供していくこと、それとこれからの若手技術員や営業員に技術を伝えるべく、これが小生の使命であると考えており、日々の指導に努力しています。

また、社内のみならず業界の発展にも積極的に取り組んでおり、ポリマーセメント系塗膜防水協議会や全国エポキシ工業協会委員として、関係する技能検定や規格の策定等にタッチし努力しています。2006年には、ポリマーセメント系塗膜防水施工指針案・同解説の策定委員として、原案内容の作成に参加しました。ビッグサン防水材もこれによって、一定の性能を有する本防水としての地位を固め、また認識を高めました。

最近、日本水道協会（JWWA）43の改定作業に参加しており、改定原案内容の一部を作成中です。この規格は飲料水用途のエポキシ樹脂の規格であり、材料の衛生性と物性の規定がメインの規格です。市場において、品質が良く安全である製品が安心で使用されるよう取り組んでいます。

今後も、会社と業界の発展に更に頑張っていきたいと考えています。



次号も
お楽しみに

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

DAINICHI CHEMICAL CO., LTD.

●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702

●東京支店
〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-5
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

映画で学ぶ 環境問題



『ゼロ・グラビティ』
(原題: Gravity)

監督: アルフォンソ・キュアロン
脚本: アルフォンソ・キュアロン
ホナス・キュアロン
製作総指揮: スティーヴン・ジョーンズ
出演者: サンドラ・ブロック
ジョージ・クルーニー
配給: ワーナー・ブラザーズ
公開: 2013年

今回は昨年度公開、アカデミー賞も多数獲得し大変な人気を博した『ゼロ・グラビティ』を題材に、地球ではなく宇宙の環境問題を取り上げます。

初めての宇宙飛行として、女性博士ライアン(サンドラ・ブロック)がマッド(ジョージ・クルーニー)や他のクルーとともに船外活動をおこなっている最中に、スペースシャトルが大破するという想定外の事故が発生します。

原因は、ロシアの衛星破壊

による宇宙ゴミ(スペース・デブリ)の襲来。

突然思いも寄らぬ膨大な宇宙ゴミが大挙して飛来した為にクルーが即死しただけでなく、シャトルの大破とともに、ライアンとマッドは1本のロープでつながれたまま、宇宙に放り出されてしまいました。

宇宙空間は、まさに無重力状態(ゼロ・グラビティ)でコントロールがきかず、漂流状態になったライアンは、パニックになるばかり。一方、

国内でも、原発のゴミ問題が東京都知事選の争点にされるなど、新たな社会問題になっていいますが、実際に宇宙のゴミ問題も相当深刻なようです。

JAXA(日本宇宙航空研究開発機構)では、スペース・デブリの危険性(地球への落下頻度)が急速に増大していることを懸念し、情報発信をおこなっています。それによると、宇宙ゴミは平均で週に1.5~2回の頻度で「大気圏に再突入」しているそうで、これまでは人や建物に大きな被害を与えたことがないだけで、決してあなどれない

「作った方がいいが、捨てるゴミのことも考えよう。」これが、この映画が訴えたかったことでしょうか? そういった辺りも考えながら、ぜひご家族でご覧頂きたい一押し作品です。

この映画、映画館公開時には3Dの上映が話題となりました。3D映画自体はもはや珍しくないものの、これまでの3Dは「飛び出す」概念でしたが、本作では「奥行き」や「深さ」を見事に表現したのです。筆者も実際に映画館で体感しましたが、無限大に広がる宇宙に「本当に落ちていくのではないか」と想えるほどでしたので、できれば3D映像をご覧ください。

テランのマットは的確な指示を出し、無事の帰還をめざすもののトラブルが続発。わずかな酸素と時間に追われ、果たして二人は無事に生還できるのでしょうか?

次々発生する危機的トラブルは、ハラハラドキドキの連続です。

さて、本作でトラブルのきっかけに使われたのは「宇宙ゴミ(スペース・デブリ)」。「ゴミ問題は地球上だけでなく宇宙でも大変な問題になっていて、宇宙は無限空間だからといって、無責任に捨て続けられれば、結局ゴミというの人類に襲いかかってくることを思い知らされます。

ちなみに、人工衛星を所有する大半の国によって締結されている「宇宙損害責任条約」という国際条約があり、万が一の場合は、衛星を打ち上げた国から賠償を受けられるようになっていて、日本の人工衛星やロケットのスペース・デブリによって被害が生じた場合は、日本の国が損害賠償補償をすることになっています。